

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

6目 農作物対策費

生産振興課(内線:7272)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取芝の利用促進事業	6,444	0	6,444				6,444	
トータルコスト	9,671千円(前年度 0円) [正職員:0.4人、非常勤職員:0.2人]							
主な業務内容	補助金業務、事例研究、研修会開催、試験実施(栽培管理、調査、まとめ)							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県で生産される芝(鳥取芝)の需要拡大と利用促進を図るため、生産性の高い県育成ノシバ「グリーンバードJ」について、校庭芝生化など新しいマーケットの開発、市場動向に応じた生産体制の整備に取り組む。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
校庭芝生化モデル事業	日本芝新品種による校庭芝生化	○県育成ノシバ「グリーンバードJ」を校庭に試験施工 県(委託)	4,800	4,800	
	既存実施校の事例研究	○県内外で行われている校庭芝生化の事例研究 県	203	203	
	県オリジナル品種の生産拡大	○県内生産者、消費者向けに新品種を紹介する研修会の開催 県	20	20	
	バミューダグラスの特性検定試験	○県育成ノシバとバミューダグラス(ティフトン)の生育比較 ○日本芝へのティフトン混入の可能性確認 ○ティフトンの除草剤効果確認 県(園芸試験場)	621	621	
鳥取芝PR事業	○県内外に向けたPR資材の作成 ○園芸資材展示・商談会などに出展	芝生産者団体、鳥取県芝生産指導者連絡協議会	1,600	800	1/2
合計			7,244	6,444	

3 これまでの取組状況、改善点

(新規)

- ・鳥取県では、昭和33年に芝の生産を開始。黒ぼく土壌で生産した本県産の芝は高品質の芝として取引され、県園芸試験場を中心に高品質生産技術の開発が行われてきた。
- ・県園芸試験場が県オリジナル品種を育成、平成20年3月シバ「グリーンバードJ」として品種登録申請
- ・平成21年6月、「グリーンバードJ」について鳥取県が県内芝生産組織8社と許諾契約を結び、県内の生産が始まり、消費宣伝について県として支援する。